

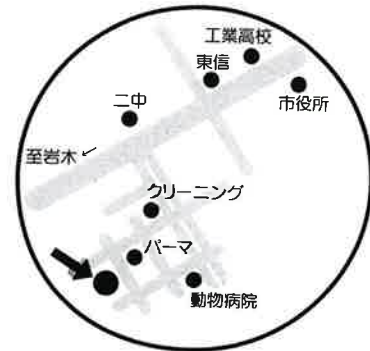
こどもの詩
えと
ぼくは ひつじどし
おばあちゃんは うしどし
ママは おにどし
(年長児)

ダビデ保育園子育て通信

(弘前市城西2丁目5の6 TEL 33-1206)



~こひつじだよ~



1月の聖句



その中の一人は、自分がいやされたのを知って、大声で神を賛美しながら戻って来た。(ルカ 17:15)

保育園では、毎日子供たちと一緒に祈りをします。朝の感謝、お帰りの感謝、お給食の感謝、病気のお友達のために祈り、おうちの人のための祈り、世界の苦しんでいる人々のための祈り。子供たちは祈りながら神さまのことを知っていくのです。祈りの中で神さまに出会い、祈りながら、神さまの恵みや祝福の一つひとつに気づいていくのです。

こどもの本



ハレルヤ!

作：むらかみしんり

絵本を開いて声に出すと、心が神様に向かっていく。笑顔の時も、涙の時も神様を見上げていこう!! そんなメッセージが楽しく伝わる心が元気になる絵本です。

「けんかで学ぶ人間関係」

ものを投げたり、ひっかいたり、子供同士のケンカには、ハラハラさせられることが多い。どのタイミングで手を出すべきか、親としては悩みどころだ。親同士の人間関係がギクシャクすることもある。けんかして、仲良くなるよう、上手に親が介入することが大事なようだ。子供を預かる乳幼児施設では、子供同士のケンカは日常茶飯事。おもちゃの取り合いなどのささいなことで、“小競り合い”が始まる。でもそこでケンカを止めることはしません。すぐ制止しても不満がたまってかえって子供同士の関係が悪化するからだ。むしろエネルギーを発散させた方がいい。もちろん、ただ傍観するわけではない。ケンカが始まりそうになったら、①周囲にケガをしそうなものがないか。②手に何も持っていないか。③1対1で。④一方がやる気がなくなったらやめる。が、ケンカの4か条だそう。子供にわだかまりが残っているようなら、ケンカの原因を整理、子供自身が「何が悪かったのか」に気づくように話をする。その際、どちらが悪かったのか“裁く”ことはしないのがポイント。母親は暴力へのアレルギーが強いが、ケンカは体を使ったコミュニケーションだと考えた方がいい。大人がいいタイミングで手を差し伸べ、すっきりしたケンカになれば、仲良くなるきっかけにもなります。1~4才頃のケンカは、まだ子供だけでは解決できない。「子供のケンカに口出ししない」ではなく、積極的に介入すべきです。それによって、友達とのかかわり方を学び、人間関係にも自信が持てるようになる。ただ子供のタイプによって、介入にも工夫が必要になる。何か気になるものを見つくと、まっしぐらに突進する子供だと、ケンカが収まらないことが多い。そうしたタイプの子供が何かを見つけたら「そう、お花だね」などと親子のコミュニケーションを取るように心がけてほしい。そうすれば突進の前に一瞬の“間”が出来、ケンカも未然に防げます。子供は「痛かったネ」など、母親に共感してもらえただけでも落ち着きます。

~すまいる育児より~

1月の予定

1. 電話による育児相談

月曜日~金曜日 AM9:00~PM4:00



1人で悩まないでちょっと電話をしてみませんか? 心が軽くなるかも……? 御希望により面接、訪問、出張もいたします。ご連絡ください。

2. 看護師による保健相談

・子育てのこと、健康のこと、気になること、何でもご相談ください。

3. みんなであそぼう!

1月24日(金) AM10:00~12:00

「新年会」

お正月ならではの遊びを、お家の方と一緒に楽しんでみましょう!! どなたでもどうぞ!!

※人数制限をやめました。

前日までの予約をお願いします。



新型コロナウイルス感染症対策として、以下のことに留意してご参加下さい。

- ・体温がT37.5℃以上ある、またカゼ症状等がひどい場合は参加をご遠慮下さい。
- ・活動中、密になるような時はマスク着用(大人のみ)をお願いすることがあります。